

会計名			郷土文化教育普及事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		郷土資料館		
款	項	目					担当係		郷土資料館		
10	5	6									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用								
	目的	市民が郷土文化について学ぶ機会を創出することで、郷土文化に対する誇りと愛着を育む。				主たる内容	○市内小学校3年生の施設見学の実施 ○はた織り体験の実施 ○展示・イベント用備品、消耗品の購入				
		位置づけ									
		関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市郷土資料館条例								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和3年度～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・はた織り体験の実施 ・施設見学の実施 51回 ・イベント用消耗品の購入		・はた織り体験の実施 ・施設見学の実施 51回 ・イベント用消耗品の購入		・はた織り体験の実施 ・施設見学の実施 47回 ・イベント用消耗品の購入		・はた織り体験の実施 ・施設見学の実施 47回 ・イベント用消耗品の購入					
成果		関係団体に委託し、はた織り講座等を開催するとともに、各種イベントも開催し、郷土文化に触れる機会を提供することができた。 また、施設側で市内小学校3年生の見学用バスを手配し、施設見学の受け入れを行った。									
課題		例年と同様のイベント開催となったため、今後は新たなイベントの開催を検討・実施していく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		はた織り体験者数（人）				597	632	666	600	600	
活動指標		小学校3年生施設見学者数（人）				1,515	1,477	1,400	1,400	1,400	
他市との比較検証		イベントの種類・内容等が異なるため、他市との比較は困難である。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,578	3,212	3,385	5,236	合計 3,385,412 円				
	財源	特定財源	78	84	88	81	需用費 44,812 円				
		一般財源	2,500	3,128	3,297	5,155	委託料 122,000 円				
	職員人件費 ②		4,220	5,575	5,788	5,926	使用料及び賃借料 3,218,600 円				
	総事業費（①+②）		6,798	8,787	9,173	11,162					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		講座受講料					
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			郷土文化教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	郷土資料館
款	項	目		担当係	郷土資料館
10	5	6			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	郷土資料館には、郷土文化に関する資料が展示されており、郷土文化について学ぶ機会を提供するとともに、来館者に郷土文化に対する誇りや愛着を育んでもらうために必要な施設となっている。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	郷土文化に対する誇りや愛着を育むには、郷土文化について学ぶ機会を提供することが必要であることから、各種講座・イベントを開催することは、来館者数を増加させる重要な手段の一つとなっている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画において、子どもを中心に市民が気軽に歴史文化に触れることのできる機会を創出することが施策として位置づけられ、郷土文化について学ぶ機会を創出することで郷土文化に対する誇りや愛着が育まれることから、市が主体となって取り組むべき事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	各種講座・イベントを通じて、施設見学のきっかけづくりを行うとともに、市内小学校3年生の施設見学を行うことで、郷土文化について学ぶ機会を創出する。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	・ 今後も郷土文化を学ぶ機会の提供を図るとともに、郷土文化に対する誇りや愛着を育んでもらうための施策を継続して行っていく必要がある。				

会計名			施設管理事業				担当部		市民活動部			
一般会計							担当課		郷土資料館			
款							項目		担当係		郷土資料館	
10							5		6			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	歴史・文化・観光交流									
		施策の内容	文化財の保護・伝承									
	目的	国の登録有形文化財「刈谷市郷土資料館」の環境を最適に保つ。				主たる内容	建物清掃委託や諸設備の管理業務委託等、郷土資料館の維持管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画									
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市郷土資料館条例									
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画					
	・建物清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・樹木管理委託 等		・建物清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・樹木管理委託 等		・建物清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・樹木管理委託 等		・建物清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・樹木管理委託 等					
	成果		建物の清掃や設備の管理業務委託を行うことで、国登録有形文化財の適切な管理・運用ができた。									
	課題		建物が登録有形文化財であるため、施設の状態を常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。									
	指標名称（単位）				実績値			目標値				
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
	活動指標	入館者数（人）			8,858	8,894	10,286	9,000	9,000			
	活動指標	開館日数（日）			308	306	306	306	306			
	他市との比較検証		知立市歴史民俗資料館 年間27,291人（令和7年度）									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
事業費 ①		6,799	6,557	8,146	7,002	合計	8,145,807 円					
財源		特定財源	0	0	0	10	需用費	2,101,145 円				
		一般財源	6,799	6,557	8,146	6,992	役務費	144,048 円				
職員人件費 ②		3,453	2,787	2,894	2,963	委託料	3,906,204 円					
総事業費（①＋②）		10,252	9,344	11,040	9,965	使用料及び賃借料	14,410 円					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		工事請負費	1,980,000 円				
		7年度までの累積事業費		0								
		9年度以降の事業費見込		0								